



R7 全国学力・学習状況調査結果について

夏休みいかがお過ごしですか。まだまだ続く暑さの中、体調を整え2学期にお備えください。

さて、全国学力・学習状況調査は、毎年4月に全国の国公私立の小学校6年生と中学校3年生を対象に実施されます。理科は3年に1回の実施です。この調査は、6年生が1学期末までに今の学力・学びの様子を把握し、卒業までにさらに力を伸ばせるよう、授業や支援の工夫につなげるものです。本校では、調査結果公表を通して、1年生からの授業づくりを見直し、よりよい学びの場を整えています。結果は「検証・改善・定着」という流れで活用し、児童の成長を支えています。健康診断のように、数値を通して学びの様子を確認するものと捉えていただければと思います。

本年度の調査結果

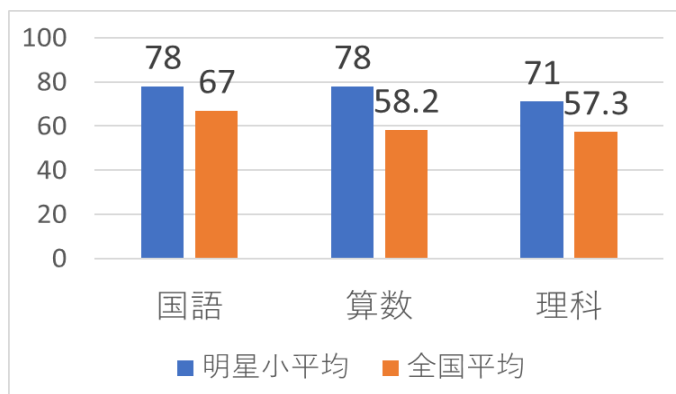
<学力調査より>

① 本校は全国平均を上回る成果

- ・国語は、全国より約11ポイント高い
- ・算数は、全国より約20ポイント高い
- ・理科は、全国より約13ポイント高い

前回調査よりも平均正答率が低下した旨のマスコミ報道がありましたが、本校は、そのような状況もなく良好でした。

昨年度の課題だった「根拠をもって説明する力」や「条件に応じた答え方」に重点を置いた指導が、成果につながったと考えています。

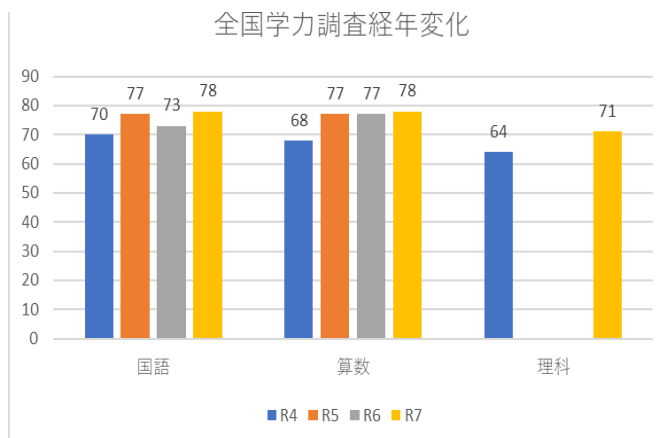


② 着実な向上が見られる

この3年間の取り組みの成果として、以下のようない向上が見られました。

- ・国語：+8ポイント
- ・算数：+10ポイント
- ・理科：+7ポイント

国語の記述式問題では、全国平均との差が+1.8から+13.5へと大きく伸びました。また無回答の割合が3年前に比べて、すごく少なくなっています。問題を解くスキルに加え、論述したり説明したりするスキルが育ったことが大切です。



<質問紙調査から>

①図書館や電子書籍の活用が、国語への関心を高めている

「国語の勉強が好き」が全国平均を 8.2 ポイント高く、32.5%でした。昨年度からの電子書籍の 5, 6 年生への導入も影響していると考えられます。今年度は、3 年生以上にも導入を広げ、教科書以外からも情報を豊かに得る学びを進めます。

②タブレットの活用が定着

「ほぼ毎日タブレットを使っている」児童は、令和 7 年度で 70.0%と、全国平均よりも 45.3% 高く、高い水準を維持しており、本校児童には「学びの道具」として意識されてきています。

- ・「分からないときにすぐ調べる」児童：全国平均より+19.4 ポイント
- ・「自分の考えを分かりやすく伝える」児童：全国平均より+13.2 ポイント

③探究的な学びが広がっている

教科書内容に留まらず領域や教科を超えて、実生活の問題について主体的・協働的に「探究」することをこの 3 年間大切にしています。

- ・「学んだことを生かして考えをまとめる」児童：全国平均より+6.2 ポイント
- ・「友達と協力して課題を解決する」児童：全国平均より+5 ポイント

また、それらに起因して自己肯定感や将来への意識も高まっています。

- ・「自分にはよいところがあると思う」児童：全国平均より+13 ポイント
- ・「将来の夢や目標を持っている」児童：全国平均より+1.8 ポイント

④生活習慣等については、保護者の皆様と情報共有して改善していきたい

以下の項目は、全国平均を下回っており、保護者の皆様と連携して改善を図っていききたいと考えます。

○朝食を毎日食べている：	82.5% (-0.8%)
○毎日同じくらいの時刻に寝ている：	35.0% (-3.8%)
○毎日同じくらいの時刻に起きている：	50.0% (-5.7%)
○地域の大人に授業等に関わってもらっている：	7.5% (-8.2%)

<まとめ>

現在の 6 年生は、入学時からコロナ禍の影響を受け、行事や体験活動が制限される中で学んできました。その中でも、タブレットの活用や探究的な学びを通して、「自分の考えを、根拠をもって伝える力」や「ICT を使って表現する力」を着実に伸ばしてきました。

卒業までにさらに力を伸ばせるよう、引き続き支援してまいります。また、5 年生以下の児童にも同様の取り組みを広げていきます。

